



前回会議の振り返り

令和8年7月30日

前回会議の振り返り

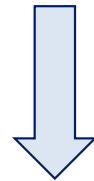
■前回会議の振り返り（主な御意見）

- ① 減価償却費を含めたフルコストで使用料を算定するという考え方自体は望ましいと考えるが、そうすることによる影響として稼働率の低い施設が少なからずある中で、これが更に低下するようなことになるのは本末転倒ではないか。
- ② 現時点において施設使用料の原価に減価償却費を含める意義がどこにあるのかしっかりと説明できるようにする必要がある、そのためには、施設の必要性について議論を深めた上で施設使用料設定基準の議論を進めるのが良いのではないか。
- ③ 施設稼働率は地域人口の多寡が影響するため、稼働率が低いからといって当該地域の住民にとって施設の需要がないとは言えない。
- ④ 持続可能性という経営的見地からの論点をベースとしつつも、政策的な観点から減価償却費を考慮しない方向性で考えてもよいのではないか。

前回会議の振り返り

■前回会議の振り返り（委員会まとめ）

前回会議の結果、「現時点では施設使用料の算定に減価償却費を含めない形で進めることとし、今後も公共施設を取り巻く状況を見極めつつ、持続可能な形になるようにその都度検討を加えることとする」と取りまとめた。



一方で、施設の在り方に関する御意見を多く頂いている状況

○論点・・・「稼働率が低い施設がある中で、真に必要な施設は何なのか、不要なものは廃止していくといった議論をしたほうが建設的」

⇒ 現在、当課で進めている施設の在り方検討の仕組み作りや、附属機関「大津市公共施設マネジメント推進委員会」での議論の状況を確認しつつ、委員会として議論を深める。

（前回資料1 P.6）

前回会議の振り返り

■今後の進め方

行政改革推進委員会

- ・本市の公共施設の現状を踏まえ、
⇒ 公共施設のあるべき姿、在り方についての御意見、御示唆

問題提起
動機付け

大津市

■第1回(本日)

- (1)本市の公共施設の状況 (公共施設白書、公共施設総合管理計画より)
- (2)施設の状況 (施設使用料徴収施設)

■次回以降

- ・第1回会議を踏まえた更なる深堀、施設の在り方 など